

大井町環境行動計画（町の行動）
実績報告書

（平成25年度）

平成26年11月

目 次

基本目標Ⅰ（生活環境）健やかな心と身体を育む、安心して暮らせるまちをめざそう

個別目標Ⅰ－１ 良好な生活環境の保全（都市環境・住環境・美化）・・・・・・・・・・ 1

個別目標Ⅰ－２ 環境汚染の防止（大気・水質・土壌・有害物質等）・・・・・・・・・・ 3

基本目標Ⅱ（自然環境）豊かな自然と共に生き、次の世代に引き継ごう

個別目標Ⅱ－１ 自然環境の保全と再生（水辺・森林・農業）・・・・・・・・・・ 5

個別目標Ⅱ－２ 生態系の保全と再生（動植物）・・・・・・・・・・ 7

基本目標Ⅲ（循環型社会）資源の循環を図り、環境負荷の少ないまちをめざそう

個別目標Ⅲ－１ ごみの減量化と再資源化の推進（廃棄物・資源）・・・・・・・・・・ 10

基本目標Ⅳ（低炭素化社会）地球環境の保全をめざし、積極的な取組をすすめよう

個別目標Ⅳ－１ 地球温暖化対策の推進（地球環境）・・・・・・・・・・ 13

基本目標Ⅴ（環境教育）環境パートナーシップの形成をめざそう

個別目標Ⅴ－１ 環境教育の推進（学校教育・情報提供）・・・・・・・・・・ 16

個別目標Ⅴ－２ 協働による環境保全の推進（協働）・・・・・・・・・・ 16

基本目標Ⅰ（生活環境）健やかな心と身体を育む、安心して暮らせるまちをめざそう

個別目標Ⅰ－１ 良好な生活環境の保全（都市環境・住環境・美化）

環境施策

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 景観の保全と良好な都市景観形成の推進 | 4 上水道の安全で安定した供給 |
| 2 快適な道路の整備 | 5 歴史的文化遺産の保全 |
| 3 公園整備・緑化事業の推進 | |

重点施策1 公害対策推進プロジェクト

町民が安全で安心して暮らせるよう、健康の保護や安全の確保のために、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭等の環境汚染の発生防止を図るとともに発生時における早期対応の徹底を図ります。

また、事業者に対しては、「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」や関係法令等に基づき、県と連携し環境汚染の発生防止に努めるとともに積極的な指導等を行います。

関連施策

- 事業者立入調査
- 町内主要河川水質調査
- 自動車排気ガスの抑制
- 剪定枝破砕処理委託事業

◎事業所の立入調査（生活環境課）

<事業概要>

「神奈川県生活環境の保全等に関する条例」により指定された事業所（46件）等へ県と連携し立入調査を実施し、を実施し、環境汚染（大気、水質、騒音、振動、悪臭等）の発生防止に努めます。

<実績>

年度	公害苦情件数	立入調査実施率
平成23年度	8	17%（8件/46件）
平成24年度	6	13%（6件/46件）
平成25年度	5	11%（5件/47件）

◎町内主要河川水質検査（生活環境課）

<事業概要>

公共用水域の水質を監視するため、町内の主要河川（9箇所）の水質検査を実施します。

<実績>

平成22年度より、検査回数を半期に一度、年2回の実施としました。全地点において規制値等を上回ることはなく、良好な結果でした。

また、環境の悪化を懸念させるような内容もありませんでした。

◎自動車排気ガスの抑制（生活環境課、総務安全課、企画財政課）

<事業概要>

自動車の排気ガスの抑制に向けたノーカーデーの実施やエコカーの普及促進及びエコドライブの推進を図るとともに、公共交通機関の利用促進を図ります。

<実績>

平成20年度からノーカーデーを特定日とせず、各個人の都合により可能な日は極力ノーカー通勤とする取り組みを推進しました。

◎剪定枝破碎処理事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの野焼きによる大気汚染や苦情の発生の防止、ごみの減量化と再資源化を図るため、剪定枝の収集と破碎処理を実施します。

<実績>

年度	収集回数	収集件数	収集量（t）	チップ配布件数
平成23年度	95	延べ830	122.5	延べ120
平成24年度	96	延べ698	134.1	延べ116
平成25年度	96	延べ802	114.1	延べ220

個別目標 I - 2 環境汚染の防止(大気・水質・土壌・有害物質等)

環境施策

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 自動車排ガス対策の推進 | 4 騒音・振動対策の推進 |
| 2 大気汚染対策の推進 | 5 有害物質対策の推進 |
| 3 排水対策の強化 | |

重点施策 2 生活排水対策推進プロジェクト

現在、本町では生活排水による河川・水路等の水質汚染防止のため、下水道の整備、合併処理浄化槽維持管理費の補助など、積極的に生活排水対策に取り組んでいます。

下水道については、昭和50年に整備を開始し市街化区域は概ね終了、現在は市街化調整区域の家屋が密集した地域を中心に整備を行っています。今後も市街化調整区域内の効率的な整備と市街化区域の100%整備を推進します。

また、下水道供用開始区域内における平成23年度末現在の下水道接続率は95.9%に達していますが、未接続の世帯や事業所に対しては個別訪問等をさらに積極的に行い、接続率の向上を図ります。

下水道処理区域外については、合併処理浄化槽の設置及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えや適正な維持管理を図ります。

関連

- 下水道整備事業
- 合併処理浄化槽維持管理費補助事業

◎公共下水道整備事業（生活環境課）

<事業概要>

衛生的な生活環境、河川などの水質保全を図るため、下水道の整備を推進するとともに下水道接続率の向上を図ります。

<実績>

市街化区域内の公共下水道による水洗化率状況

年度	区域面積 (ha)	許可区域 面積 (計画面積) (ha) A	整備済面積 (ha) B	面積整備率 (%) B/A	市街化区域 内人口 (人)	整備済区域 内人口 (人) C	整備済区域 内接続人口 (人) D	接続率 (%) D/C
平成23年度	325.0	325.0	323.3	99.5	14,080	14,080	13,774	97.8
平成24年度	325.0	325.0	323.3	99.5	14,076	14,076	13,770	97.8
平成25年度	325.0	325.0	323.3	99.5	14,021	14,021	13,715	97.8

市街化調整区域内の公共下水道による水洗化率状況

年度	区域面積 (ha)	許可区域 面積 (計画面積) (ha) A	整備済面積 (ha) B	面積整備率 (%) B/A	市街化調整 区域内人口 (人)	整備済区域 内人口 (人) C	整備済区域 内接続人口 (人) D	接続率 (%) D/C
平成23年度	1,116.0	88.4	75.0	84.8	3,503	1,177	865	73.5
平成24年度	1,116.0	95.2	77.0	80.9	3,425	1,261	992	78.7
平成25年度	1,116.0	95.2	78.1	82.0	3,383	1,218	865	71.0

◎合併処理浄化槽維持管理費補助事業（生活環境課）

<事業概要>

合併処理浄化槽の普及及び適切な管理を促進するため合併処理浄化槽維持管理費補助事業を実施します。

<実績>

補助事業実績及び合併処理浄化槽設置状況（下水道供用区域外）

年度	補助金交付件数	補助金額（円）	設置基数	申請率（％）
平成23年度	128	3,986,140	199	64%
平成24年度	131	4,023,285	209	63%
平成25年度	136	3,977,640	160	85%

基本目標Ⅱ（自然環境）豊かな自然と共に生き、次の世代に引き継ごう

個別目標Ⅱ－1 自然環境の保全と再生（水辺・森林・農業）

環境施策

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 身近な水辺環境の保全 | 5 グリーンツーリズムの推進 |
| 2 緑やせせらぎと調和した都市基盤の整備 | 6 農産物の地産地消の促進 |
| 3 森林・里山の保全と再生 | 7 人と自然の豊かなふれあいの確保 |
| 4 環境保全型農業の推進 | |

重点施策3 森林・里山再生プロジェクト

森林は地下水の涵養、二酸化炭素の吸収等といった重要な環境保全機能を有しています。本町の森林等は管理が不十分なことから、このような森林が持つ公益的機能が近年損なわれつつあります。

本プロジェクトでは、本町の森林が県内の水源林として重要なエリアに位置づけられているため、神奈川県が進めている、かながわ森林再生50年構想との整合を踏まえ、水源林となる区域の森林保全・再生整備を推進し、公益的機能の回復・再生に努めます。

また、「おおいゆめの里」を中心とし、ボランティア団体等との協働により復元と保全を図ります。

さらに、近年、丘陵部の里山や農地を中心に、イノシシやシカ等の増殖に伴う農作物被害が深刻化しており、農業者の経営を脅かすとともに、生態系にも影響を与えつつあることから、有害鳥獣の捕獲や被害対策を充実します。

関連 施策

- 地域水源林整備事業
- 「おおいゆめの里」整備事業
- 里山保全活動支援事業
- 有害鳥獣被害防止事業

◎地域水源林整備事業（生活環境課）

<事業概要>

水源涵養、土砂の流失・崩壊防止、里山景観の形成、多様な動植物の生息の場として、森林の持つ公益的機能の再生を図るため、森林整備を進めます。

<実績>

	地域水源林整備面積 (ha)	整備箇所	地域水源林整備率 (%)
平成23年度	5.40	おおいゆめの里エリア内	10.80%
平成24年度	1.97	おおいゆめの里エリア内、下山田町有地	13.43%
平成25年度	3.01	おおいゆめの里エリア内、下山田民有林	17.44%

◎「おおいゆめの里」整備事業（地域振興課）

<事業概要>

自然環境を管理・保全し、荒廃しつつある山林を里山に復元しながら集客を見込める花木を適度に植栽し、都市住民との交流施設として整備を行います。

<実績>

おおいゆめの里山林間伐を行い、整備を推進しました。

- ・間伐整備面積：0.80ha 保育工、除伐工、丸太階段工20段
- ・ゆめの里育て隊（ボランティア） 作業回数：8回 延べ参加人数：125名

◎里山保全活動支援事業（地域振興課）

<事業概要>

ボランティア団体「ゆめの里育て隊」との協働により積極的に里山管理を推進します。

<実績>

散策道の草刈りをはじめ、道路沿いにアジサイを植栽しました。

◎有害鳥獣被害防止事業（地域振興課、生活環境課）

<事業概要>

有害鳥獣による農作物被害を防止するため、地域とともに被害防止活動を行うとともに防護柵設置補助や有害鳥獣捕獲助成事業を推進します。また、生態系との調和を図りつつ有害鳥獣の駆除を行います。

<実績>

大井町鳥獣被害防止計画を策定し、農作物被害を防止するため、有害鳥獣の駆除を行いました。

イノシシ 7 シカ 7 ハクビシン 2 タヌキ 2

個別目標Ⅱ-2 生態系の保全と再生(動植物)

環境施策

- 1 野生動植物の生息・生育環境の保全と再生、適正化
- 2 おおい自然園事業の展開

重点施策4 おおい自然園プロジェクト

大井町にはたくさんの自然があり、町民のこころを豊かに育ませてきました。その自然の素晴らしさを分かりやすく伝えていくため、町全体を自然博物館と捉えた「おおい自然園」事業を展開していきます。

おおい自然園事業は自然観察会の開催や生き物調査、自然情報の広報等をとおして、自然と人とのかかわりを学び、地域の生態系について「親しむ」「知る」「守る」事業です。そして、町民自らが身近な自然を意識することで、生物多様性の保全が促され、町民が自然を大切にすることを養います。

関連 施策

- おおい自然園事業
- おおい自然園事業サポーター養成事業
- 大井町史（別編 自然）紹介

◎おおい自然園事業（生涯学習課、地域振興課、生活環境課、町民課）

<事業概要>

動植物の生態系を保全するため、町全体を「おおい自然園」ととらえ、自然観察会の開催や生き物調査、自然についての情報提供を行うとともに「おおい自然園展示会」等を開催します。

<実績>

おおい自然園事業では、町の豊かな自然を伝えるため、広報紙やホームページに連載するとともに生涯学習センターに資料展示室の展示により、啓発に努めました。また、おおいゆめの里をフィールドにした自然観察会や酒匂川をフィールドにした夜の虫や石の観察会等を実施しました。さらに、生きもの調査としてセミの抜けがらやアメリカザリガニ・サワガニの分布調査を行い、町の環境を見つめ直す機会をつくるとともに、11月に展示会を開催し、調査結果や広報連載記事等を展示しました。さらに、第7回大井町環境展時に特別講演会を開催しました。

年度	事業名	参加者数	参加対象者
平成24年度	水生生物の観察会	雨天中止 申込14人	小学4年生以上と保護者、町民一般
	おおいゆめの里 自然観察会	初夏23人 夏 12人 秋 18人 冬雨天中止 申込18人 早春雨天中止 申込14人	
	酒匂川の 石の観察会	8人	
平成25年度	夏編	33人	小学3年生以上
	秋編	22人	

年度	事業名	参加者数	参加対象者
平成25年度	川の生きもの観察会	26人	小学3年生以上（火山灰観察会は小学4年生以上）
	夜の虫観察会	14人	
	酒匂川の石の観察会	10人	
	酒匂川の野鳥観察会	14人	
	火山灰観察会	32人	
	おおいゆめの里自然観察会	春23人 初夏26人 夏10人 秋10人 冬21人	
	おおい自然園展示会	714人	一般
	おおい自然園講演会	369人	

◎おおい自然園サポーター養成事業（生涯学習課）

<事業概要>

自然観察会等の指導者を養成し、指導者間の交流を通して、自然環境の保全を促します。

<実績>

サポーター養成講座（全5回） 参加者 のべ96人 対象者：20歳以上

◎大井町史（別編 自然）の紹介（生涯学習課）

<事業概要>

大井町史（別編 自然）に内容を周知するとともに大井町史の販売を行います。

<実績>

大井町の自然を町広報誌に紹介

年度	開催月	内容
平成24年度	4	春だけ出会えるちょうちょ ミヤマセセリ
	5	斑状組織の目立つ岩石 －安山岩の岩脈－
	6	アマガエルとアオガエル
	7	ものさびしさを感じる光 ヘイケボタル
	8	砂や泥からできた岩石 －足柄山地の石－
	9	コゲラ
	10	浅い海を示す化石 －足柄山地の石（2）－
	11	ムクノキ
	12	白い紙がひらひらと 身近なちょうウラギンシジミ
	1	10万年前からの火山活動 －富士火山①－
	2	ホトケドジョウ
	3	里山のミニタマムシ －アカガネサルハムシー
	平成25年度	4
5		タブノキ
6		マツモムシ
7		矢倉岳をつくる石英閃緑岩
8		サワガニ
9		オオヒラタシデムシ
10		アラカシ
11		不思議なこぶ
12		セラドナイト
1		メジロ
2		冬越しする虫
3		黄鉄鉱

基本目標Ⅲ（循環型社会）資源の循環を図り、環境負荷が少ないまちをめざそう

個別目標Ⅲ-1 ごみの減量化と再資源化の推進（廃棄物・資源）

環境施策

- 1 ごみの減量化と適切な処理の推進
- 2 再資源化の促進
- 3 不法投棄対策の推進

重点施策5 ごみの減量・資源化プロジェクト

近年、ごみ処理の問題は、全国的に将来に向けた大きな懸念材料となっており、ごみの減量化については自治体の大きな課題となっております。

現在、本町では、分別収集、資源回収の推進、段ボールコンポスト普及啓発、書道反古紙再生プロジェクト事業など、ごみの減量化と再資源化に努めていますが、さらに推進を図るため、廃棄物の発生抑制（Reduce:リデュース）、廃棄物の再使用（Reuse:リユース）、廃棄物の再生利用（Recycle:リサイクル）を推進するため、町民や事業者に対する意識の高揚、ごみの減量化の促進や各種リサイクル制度の周知、ごみの分別の徹底、新たな分別の検討など積極的に行います。

また、本町内の各所では現在もごみの不法投棄が多くみられることから、不法投棄を許さない町として、県・警察・足柄上地域不法投棄監視員さらには町民や事業者等と連携し、不法投棄の徹底的な撲滅を図っていきます。

関連施策

- 廃棄物分別収集事業
- 資源回収奨励金交付事業
- 剪定枝チップ利用促進
- 段ボールコンポスト普及啓発事業
- 書道反古紙再生プロジェクト事業
- ごみ処理広域化事業
- 環境パトロール

◎廃棄物分別収集事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量化と資源化の向上を図るため、分別収集の徹底を図るとともに各種リサイクル制度の周知、啓発を努めます。

また、燃えるごみの組成分析調査を実施し、分別収集のあり方の検討を進めます。

<実績>

ごみの分別や排出日の徹底を図るため、「家庭ごみの正しい出し方」を作成し全戸配付をしました。燃えるごみの組成分析を実施しました。

年度	ごみ削減率	ごみ資源化率 (%)
平成14年度	847 g /1人・日	22.78%
平成24年度	792 g /1人・日	25.74%
平成25年度	783 g /1人・日	26.82%

◎資源回収奨励金交付事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量化と資源の有効利用に対する意識を高めるため、地域住民で組織する各種団体が実施する資源回収活動に対し支援を行います。

<実績>

年度	実施団体	延べ実施回数	総回収量（kg）	奨励金交付額
平成23年度	16	31	77,999	62,000円
平成24年度	16	29	72,241	58,000円
平成25年度	14	28	6,888	56,000円

※奨励金交付額については、平成22年度より交付金の算定基準を「2,000円/回+回収量×3円」から「2,000円/回」のみとしたため、大幅な減額となりました。

◎剪定枝チップ利用促進（生活環境課）

<事業概要>

剪定枝破砕処理委託事業を通じて生成された剪定枝チップの使用促進を図り、ごみの減量化と家庭菜園等での幅広い活用を促進します。

<実績>

年度	収集回数	収集件数	収集量（t）	チップ配布件数
平成23年度	95	延べ830	122.5	延べ120
平成24年度	96	延べ698	134.1	延べ116
平成25年度	96	延べ802	114.1	延べ220

◎段ボールコンポスト普及啓発事業（生活環境課）

<事業概要>

燃えるごみに多く含まれる生ごみの減量化と再資源化を図るため、安価で堆肥化が可能な段ボールコンポストの普及促進を図ります。

<実績>

家庭より排出される生ごみについて、段ボールコンポストに投入することでごみの減量と再資源化を図りました。延べ60世帯に配布。

◎書道反古紙再生プロジェクト事業（生活環境課、教育総務課）

<事業概要>

町内小学校の毛筆授業で発生する使用済みの半紙を事業者と契約し再生・再利用し、ごみの減量と再資源化、環境教育を推進します。

<実績>

各学校の3年生から6年生の書道授業で使用する半紙について、使用済半紙を業者が回収することで児童のリサイクル意識が高まりました。納品実績 大井小104枚（1枚・500枚入）、相和小8枚、上大井小42枚。

◎足柄上地区ごみ処理広域化事業（生活環境課）

<事業概要>

ごみの減量や資源化、ダイオキシン類の排出抑制を図るため、神奈川県が策定した「ごみ処理広域化計画」に基づき、足柄上地区1市5町によりごみ処理の広域化を推進します。

<実績>

平成19年度から21年度に掛けて担当課長会議によりごみ処理施設の共有化、分別収集のあり方などについての報告書を取りまとめ、平成22年度においては、人口やごみ量の将来予測など、協議に資する基礎資料の見直しを進めてきました。

平成23年度において検討を進めてきたごみ処理広域化の方向性について、平成24年度には更に実施組織の設立に向けて協議を進め、平成25年度から南足柄市役所に実施本部を設置し、ごみ処理施設の候補地の選定など本事業を再開した。

◎環境パトロール（生活環境課）

<事業概要>

町内全域を対象とし、環境パトロールを実施し、不法投棄の防止を図るとともに、不法投棄物や散乱ごみを撤去し、二次投棄等の防止を図ります。また、県、警察と連携し、不法投棄の撲滅に向けた取組を進めます。

また、県、警察と連携し、不法投棄の撲滅に向けた取組を進めます。

<実績>

年度	実施回数	回収した不法投棄廃棄物（t）	回収した美化清掃ごみ（t）
平成23年度	42	8.6	15.6
平成24年度	43	7.9	13.9
平成25年度	41	8.5	14.5

基本目標Ⅳ（低炭素社会）地球環境の保全をめざし、積極的な取組をすすめよう

個別目標Ⅳ－1 地球温暖化対策の推進（地球環境）

環境施策

- 1 省エネ、省資源に配慮したライフスタイルの促進
- 2 再生可能エネルギーの有効利用の促進
- 3 交通における地球温暖化対策

重点施策6 地球温暖化対策推進プロジェクト（低炭素化社会）

地球温暖化対策を推進するため、温室効果ガス発生量を抑制する日常生活や事業活動の促進、太陽光発電設備の普及など再生可能エネルギー利用の促進などを図るため、関連情報の充実や国・県と連携した温室効果ガス削減に関する施策を推進します。

また、町も自らの事業活動に伴い温室効果ガスを発生させている事業者であることから、削減目標達成に向けた取組の徹底を図ります。

関連 施策

- 省エネ・創エネ・蓄エネ推進事業
- メガソーラー設置運営事業
- 住宅用太陽光発電設備設置費補助事業
- エコカー普及促進事業

◎省エネ・創エネ・蓄エネ推進事業（総務安全課、生活環境課）

<事業概要>

町の事務事業から発生する温室効果ガスの排出量を抑えるとともに、積極的に省エネ・創エネ・蓄エネ推進に取り組めます。

<実績>

一部の蛍光灯をLED化し、節電に取り組みました。

平成20年4月に業務を開始した新たな学校給食センター及び平成23年度に整備した農業体験ビジターセンター「四季の里」へ太陽光発電設備を導入し、使用電力の一部を補っています。

また、本町の事務事業において排出される温室効果ガス排出量の削減に向け、取組を推進しましたが、電気使用量におけるCO₂排出係数（※）が増加したことに伴い、全体のCO₂排出量が大幅に増加する結果となりました。

【CO2排出量(平成14年度対比)】

	電気の使用量 (kg)	都市ガスの使用量 (kg)	LPGの使用量 (kg)	灯油の使用量 (kg)	水道の使用量 (kg)	ガソリンの使用量 (kg)	軽油の使用量 (kg)	ごみの総排出量 (kg)	資源ごみの総排出量 (kg)	CO2総排出量 kg
平成23年度数値 — 平成14年度数値	341,530	△ 47,311	△ 1,651	2,911	△ 4,059	1,730	△ 10,280	△ 39,269	—	243,601
平成14年度対比(%)	128.6%	76.8%	54.7%	109.5%	84.9%	105.7%	48.7%	58.9%	—	15.19%

	電気の使用量 (kg)	都市ガスの使用量 (kg)	LPGの使用量 (kg)	灯油の使用量 (kg)	水道の使用量 (kg)	ガソリンの使用量 (kg)	軽油の使用量 (kg)	ごみの総排出量 (kg)	資源ごみの総排出量 (kg)	CO2総排出量 kg
平成24年度数値 — 平成14年度数値	172,349	△ 44,083	△ 1,598	△ 692	△ 4,643	2,735	△ 11,305	△ 34,833	—	77,930
平成14年度対比(%)	114.4%	78.3%	56.1%	97.7%	82.7%	109.0%	43.6%	63.5%	—	4.86%

	電気の使用量 (kg)	都市ガスの使用量 (kg)	LPGの使用量 (kg)	灯油の使用量 (kg)	水道の使用量 (kg)	ガソリンの使用量 (kg)	軽油の使用量 (kg)	ごみの総排出量 (kg)	資源ごみの総排出量 (kg)	CO2総排出量 kg
平成25年度数値 — 平成14年度数値	597,379	△ 43,860	△ 1,724	△ 3,430	△ 3,451	5,821	△ 11,534	△ 47,578	—	491,623
平成14年度対比(%)	150.1%	78.4%	52.7%	88.8%	87.2%	119.1%	42.4%	50.2%	—	30.65%

※ 京都議定書第一約束期間(2008~2012年)が終了したことに伴い、京都メカニズムクレジット等の反映が終了したことに伴い2013年度の電気使用量におけるCO2排出係数が大きくなりました。(2013年度は反映量約240万t-CO2が減少)

◎メガソーラー設置運営事業（生活環境課）

<事業概要>

地球温暖化防止及び町有地の有効活用を図るため事業者と連携しメガソーラー設置運営事業を推進し、再生可能エネルギーの普及促進及び環境教育との連携を図り、環境に配慮したまちづくりにつなげます。

<実績>

下山田町有地へメガソーラーの誘致を図るため、メガソーラー設置運営事業に係わる企画提案を募集し、事業者を選定した。

◎ メガソーラー設置運営事業の概要

- ・ 所 在 大井町山田字かたぶた1473番地 外89筆
- ・ 事業用地面積 68,631㎡（メガソーラー設置面積 約27,700㎡）
- ・ 設置運営事業者 （株）古川
- ・ 事業期間 20年
- ・ 発電開始 平成26年3月
- ・ 発電規模 2.12メガワット（ND-245（多結晶）245〔W/枚〕） 8,640枚

メガソーラー（2MW）は地球温暖化防止に貢献

- ・ 一般家庭約600世帯（大井町総世帯数の約9%）分の電力を発電
- ・ CO2削減量 約660 t／年〔原油換算 約480kℓ／年〕〔森林面積換算 約180ha／年〕

◎住宅用太陽光発電システム設置費補助事業（生活環境課）

<事業概要>

地球温暖化の防止及び環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する町民に対し、設置費用の一部を補助します。

<実績>

	交付件数	太陽光発電設備導入率
平成14年度	-	0%
平成24年度	45	5%（90棟/1800棟）
平成25年度	49	7.7%（139棟/1800棟）

◎エコカー普及促進事業（生活環境課、税務課）

<事業概要>

エコカーの普及促進を図るため、電気自動車の購入及び電気自動車用急速充電設備の設置者に対し補助を行うとともに、電気自動車の軽自動車税の減免を行います。また、そうわ会館に設置した電気自動車用急速充電器の利用促進を図ります。

<実績> 電気自動車等購入補助申請件数

年度	4輪車	2輪車
平成24年度	0件	0件
平成25年度	3件	0件

<実績> 電気自動車用急速充電器設置費補助申請件数

年度	急速充電器
平成24年度	0件
平成25年度	0件

<実績> 電気自動車に対する軽自動車税の減免措置件数

年度	減免件数
平成24年度	2件
平成25年度	2件

基本目標Ⅴ（環境教育）環境パートナーシップの形成をめざそう

個別目標Ⅴ－１ 環境教育の推進（学校教育・情報提供）

環境施策

- 1 環境学習の促進と基盤づくり
- 2 環境情報の的確な提供

個別目標Ⅴ－２ 協働による環境保全の推進（協働）

環境施策

- 1 協働による環境保全・再生活動の促進

重点施策Ⅶ 環境教育推進プロジェクト（環境教育）

環境の保全を着実に推進するためには、全ての町民や事業者、これからの大井町を担う小中学生の高い環境意識やモデルを醸成するとともに、各主体が自主的に考え、取り組むための仕組みづくりを推進する必要があります。

環境学習会や情報提供、環境イベントなどを通じて環境についての意識の高揚を図り、本町の環境や地球環境のための自主的な行動が展開される施策を実施していきます。また、主体的な活動を行う組織づくりを推進します。

関連 施策

- 環境展の開催
- おおい自然園事業
- おおい自然園サポーター養成事業
- おおい課外塾
- 環境出前講座
- エコ・タウンおおい推進協議会

◎環境展の開催（生活環境課）

<事業概要>

事業者や各種団体等の協力のもと、環境改善に関する技術や活動紹介等を行い、町民等への環境学習、情報提供、意識啓発を行います。

<実績>

隔年開催により未実施

年度	来場者数
平成14年度	1,500人
平成15年度	2,500人
平成25年度	1,800人

◎おおい自然園事業（生涯学習課、地域振興課、生活環境課）

<事業概要>

動植物の生態系を保全するため、町全体を「おおい自然園」ととらえ、町内動植物の生息・生育状況について情報を収集するとともに、「おおい自然園展示会」等を開催し、町の自然を紹介します。

<実績>

年度	事業名	参加者数	参加対象者	
平成24年度	おおい自然園	水生生物の観察会	雨天中止 申込14人	小学4年生以上と保護者、町民一般
		おおいゆめの里 自然観察会	初夏23人 夏 12人 秋 18人 冬雨天中止 申込18人 早春雨天中止 申込14人	
		酒匂川の 石の観察会	8人	
平成25年度	四季の里 芋まつり	夏編	33人	小学3年生以上
		秋編	22人	
平成25年度	おおい自然園	川の生きもの観察会	26人	小学3年生以上（火山灰観察会は小学4年生以上）
		夜の虫観察会	14人	
		酒匂川の 石の観察会	10人	
		酒匂川の 野鳥観察会	14人	
		火山灰観察会	32人	
		おおいゆめの里 自然観察会	春23人 初夏26人 夏10人 秋10人 冬21人	
	おおい自然園展示会	714人	一般	
おおい自然園講演会	369人			

◎おおい自然園サポーター養成事業（生涯学習課）

<事業概要>

町内に生息する動植物の調査・研究をはじめ、その成果の発信や環境教育・観光における活用につなげます。

<実績>

おおい自然園事業では、町の豊かな自然を伝えるため、広報紙やホームページに連載するとともに生涯学習センターに資料展示室の展示により、啓発に努めました。また、おおいゆめの里をフィールドにした自然観察会や酒匂川をフィールドにした夜の虫や石の観察会等を実施しました。さらに、アメリカザリガニ・サワガニの生きもの調査を行い、町の環境を見つめ直す機会をつくるとともに、11月に展示会を開催し、調査結果や広報連載記事等を展示しました。

さらに、第7回大井町環境展時に特別講演会を開催しました。

◎おおい課外塾（生涯学習課）

<事業概要>

自然環境学習の促進を図るため自然観察会を行います。

<実績>

年度	事業名	参加者数		参加対象者	
平成24年度	酒匂川の野鳥観察会	15人		小学1～6年生・保護者・一般	
	磯の生きもの観察会	20人		小学4～6年生とその保護者	
	さがそう!酒匂川の鳴く虫	20人		幼児～6年生とその保護者	
	星座観察会	夏季	悪天候のため中止		小学4～6年生
		冬季	26人		小学4～6年生
子ども炭焼き体験	13人		小学4～6年生		
平成25年度	磯の生きもの観察会	23人		小学4～6年生とその保護者	
	おおい歴史探検隊	16人		小学4～6年生とその保護者	
	星座観察会	夏季	38人		小学4～6年生
		冬季	21人		小学4～6年生
	子ども炭焼き体験	14人		小学4～6年生	

◎環境出前講座（生涯学習課、生活環境課）

<事業概要>

「低炭素」・「循環」・「自然共生」の各分野における出前講座を積極的に推進します。

<実績>

年度	実施回数
平成24年度	19回
平成25年度	19回

◎エコ・タウンおおい推進協議会（生活環境課）

<事業概要>

低炭素化社会、資源循環型社会、自然共生社会の実現へ向けた環境施策の検討、協働による環境施策の推進体制づくりを進めます。

<実績>

協働による環境基本計画の推進体制づくりに向けた検討を進めるとともに、環境展の企画及び子どもエコ・体験ツアーを実施した。